

資料 2

令和 5 年度各専門部会等の事業計画

令和 5 年 (2023) 7 月 1 2 日

出雲市健康福祉部福祉推進課

令和５年度 （つながる）専門部会 事業計画書

メンバー	部会長 : 玉木（かのん） 副部会長 : 福田啓（プレーゲ） メンバー : 渡部・古家（ふあっと）、吉田（いんくるネット出雲） 武田（斐川高齢者あんしん支援センター）、今岡（平安堂） 岸（うさぎケアプラン出雲）、古割（出雲保健所） 福間（太陽の里）、富岡（Reve） 事務局 : 原田（福祉推進課）
現状 （問題点・課題）	①介護保険とつながる：障がい福祉サービスから介護保険への移行をスムーズに行う必要があるが、現状は相談支援専門員とケアマネとの連携がうまくいかず、当事者が不安を抱いてしまうケースがある。 ②地域とつながる：障がいのある方にとって地域とのつながりは重要だが、お互いに協力し合える段階までには進めていない現状がある。
テーマ （ねらい）	①介護保険とつながる：介護支援専門員と相談支援専門員がお互いに顔を合わせて相互理解を深め、連絡がとりやすく同じ目的に向かって協働できる環境作りをする。 ②地域とつながる：障がいのある人や相談支援専門員について地域の方に理解を深めてもらえるように、社会福祉協議会等に働きかけ、必要時に連携ができる体制を作る。
具体的方法 （評価を含む）	①介護保険とつながる - ケアマネと相談支援専門員の合同研修 ⇒ <u>9/27（水）の出雲市サービス調整会議</u>で実施。 - お互いの分野で実施している既存の研修会等への参加。 - 障がい福祉制度から介護保険への移行に向けたスケジュールの見直し。 ②地域とつながる 社会福祉協議会とのつながりを強化することを目的とした活動を実施。 - 社会福祉協議会と協働して事例検討会（研修会）を実施。 ⇒ 12月を予定。 内容は困難ケースの事例検討会、あるいは、重層的支援の研修会を検討。 ※ケアマネも参加を予定。

年間計画(案)

月	内 容	備 考
4 月		
5 月	第 1 回WG	
6 月		
7 月	第 2 回WG	
8 月	第 3 回WG	
9 月	9 月 27 日(水) 出雲市サービス調整会議	
10 月		
11 月	第 4 回WG	
12 月	事例検討 or 勉強会 (社会福祉協議会との協働)	
1 月	第 5 回WG	
2 月		
3 月	第 6 回WG	

令和5年度（くらし）専門部会 事業計画書

メンバー	部会長：森谷（桑友） 副部会長：柳楽（ハートピア出雲） メンバー：宮本（桑友）、足立（くまローズスポーツ） 福代（CSいずも） 事務局：木村、今井（福祉推進課）
現状 （問題点・課題）	昨年度は定期的に地域資源情報を共有する場を設けることで、利用者の実益につながるヒントを分かち合えたと感じている。反面、テーマ設定が「障がい者」中心の内容に偏っていたという反省もある。地域で生活する「障がい児」についても、同様に情報共有の場が必要ではないだろうか？こども部会との連動やすみ分けも視野に入れて取り組みを検討する。 サービス調整会議を活用して、相談支援専門員としてのスキルアップを図るゲーム様研修を行う。柔軟かつユニークなアイディアの獲得につながり、今年度もさらに工夫ができればと考える。
テーマ （ねらい）	○対象年齢や障害種別に偏りなく、各相談支援専門員が所有する地域資源情報について、定期的に共有する場をつくる。 ○資源情報一覧の見直しや活用方法、今後の更新等について見通しの検討を行う。
具体的方法 （評価を含む）	○地域資源に関する定期的な情報共有 ①情報交換会（会場・オンライン併用） ・偏りの出にくいテーマを設定し情報や意見を交換 ・各相談支援専門員の取り組みについて具体的な情報収集 →資源活用工夫の共有や地域課題抽出につなげる ②サービス調整会議（2月） ・「障がい者の社会参加」について掘り下げる ※テーマに関する議論を深めるため、当事者の参画を予定 ○資源情報一覧の更新 より見やすい様式への変更を検討する 情報交換会で得られた情報の追記を中心に修正 →各相談支援事業所、サービス提供事業所へ発信

年間計画(案)

月	内 容	備 考
4 月	第 1 回くらし専門部会(4 月 21 日) ・事業計画及び年間計画確認 ・情報交換会に関する検討	
5 月	第 2 回くらし専門部会(5 月 11 日) ・情報交換会①準備(役割分担等) ・2 年間のふり返し	
6 月	情報交換会①【障がい者・児問わず】(6 月 22 日) ・ニーズに基づいて地域のボランティアとつながる方法 ・本人よりも家族の希望に沿った計画になりがち?	会場・オンライン 併用
7 月	第 3 回くらし専門部会 ・情報交換会①ふり返し、意見交換会②準備 ・資源情報一覧様式検討	
8 月	情報交換会②【高齢当事者との関わり】(8 月 17 日) ・機能低下に伴う周囲の心配 ・家族や支援者と本人の想いにズレが発生 →介護保険移行以外に地域で支える方法はないか?	会場・オンライン 併用
9 月	第 4 回くらし専門部会 ・情報交換会②ふり返し、意見交換会③準備 ・資源情報一覧様式検討	
10 月	情報交換会③【外国の方への支援】(10 月 25 日) ・言語、文化、学校等の社会システムの違いを知る ・コミュニケーションをとる際の苦労	会場・オンライン 併用
11 月	第 5 回くらし専門部会 ・情報交換会③ふり返し(①～③総括) ・資源情報一覧更新(追記及び修正) ・サービス調整会議準備	
12 月	第 6 回くらし専門部会 ・資源情報一覧更新(追記及び修正) ・サービス調整会議準備	
1 月	第 7 回くらし専門部会 ・サービス調整会議準備	
2 月	サービス調整会議(2 月 28 日) 【障がい者の社会参加について現状と課題を考える】	
3 月	第 8 回くらし専門部会 ・年度総括	

令和5年度 じりつ専門部会 事業計画書

メンバー	部会長：渡部（ふあっと） 副部会長：勝部（そうゆう） ささえ愛サポート WG メンバー：長澤（美野園）、浅津、見戸（出雲サンホーム）、松村（ふたば園）、濱村（光風園）、富岡（ふあっと）、富岡（Reve）、岩崎（クオーレ）、タ永（CS いずも）、布野（ハートピア出雲）、 地域移行支援 WG メンバー：佐藤、和田（こころの医療センター） 矢野、信高（海星病院）、矢野（出雲保健所）、三島（ハートフルホームかんど）、金友（WANAJAPAN）、若林（Relisa）、富岡（Reve）、（県中）事務局：山本、青木（福祉推進課）
現状 （問題点・課題）	○ささえ愛サポート： 登録票の提出に事業所や相談支援専門員の偏りが見られる。また、相談支援専門員を対象としたアンケート結果から活用経験がなく、流れを理解しづらいとの意見や今後、事業の利用や登録検討が必要なケースが多数あった。また、拠点アパートの利用対象者や緊急時の利用条件について周知し活用につなげる必要がある。 ●地域移行支援： 地域で在宅生活を支える為のリスク要因やニーズ、課題を把握する必要がある。精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業とリンクして現状と課題を整理し今後の必要な取り組みを見直す必要がある。
テーマ （ねらい）	障がいのある方が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるように… ○地域生活支援拠点（ささえ愛サポート）のスムーズな利用 ●地域移行のみならず在宅生活を支える地域の仕組み作り
具体的方法 （評価を含む）	○ささえ愛サポート： 1、利用者に対する事業の周知や相談支援専門員の制度理解の徹底 ・利用者用パンフレットを修正し、流れをわかりやすくする。 ・相談支援専門員用パンフレットを作成する。（登録後の情報更新、登録取下げ等について検討） ・個別相談会を設け、事業活用の理解を深める。（ケース検討） 2、拠点アパートの利用対象や条件などの検討 ・アパート見学会を実施する。 ・事例紹介で利用対象や条件を理解してもらい活用をすすめる。 ●地域移行支援： 1、地域課題として3つのテーマに絞り現状と課題を整理する。 ・「地域で支える医療の強化」、「家族支援」、「住まいの確保」についてテーマ別にゲストを呼び、多職種で幅広い視点から現状と課題を検討する。

年間計画(案)

月	内 容	備 考
4 月	○ささえ愛サポート、親亡き後の支援 (サービス調整会議にて)	サービス調整会議 4 月 26 日 (水)
5 月	○ささえ愛サポート個別相談会 ○ささえ愛サポート WG (1 回目 5/11)	
6 月	○アパート見学会 (6/28) ●地域移行支援 WG (1 回目 6/22)	
7 月	○ささえ愛サポート個別相談会 ○アパート見学会 (7/11)	
8 月	○ささえ愛サポート WG (2 回目 8/23) ●地域移行支援 WG (2 回目 /)	
9 月	○ささえ愛サポート個別相談会	
10 月	●地域移行支援 WG (3 回目 /)	
11 月	○ささえ愛サポート個別相談会	
12 月	●地域移行支援 WG (4 回目 /)	
1 月	○ささえ愛サポート個別相談会 ●地域移行支援(精神科病院・入所施設から)事例から地域 移行の現状と課題を考える(サービス調整会議にて)	サービス調整会議 1 月 23 日 (火)
2 月	●地域移行支援 WG (5 回目 /)	
3 月	○ささえ愛サポート個別相談会	

○ささえ愛サポート WG ●地域移行支援 WG

令和5年度 （ こども ） 専門部会 事業計画書

メンバー	部会長 : 田中 倫子 (プレーゲ) 副部会長 : 川上 ゆかり (ハートピア出雲) メンバー : 岡本 智子、勝部 優美 (さざなみ学園) 福田 由理 (プレーゲ) 山形 美由紀 (CS いずも) 事務局 : 三沢 瑠美子 (福祉推進課)
現状 (問題点・課題)	① 医療的ケア児、重症心身障がい児等を担当する相談支援専門員が把握している情報に差があるため、ご家族が得る情報にも差が出ている。そのため、本来利用できるサービスや制度につながない現状がある。 ② R4年11月に島根大学医学部附属病院に『島根県医療的ケア児支援センター』が開設された。センターの役割等の理解が不十分であり、連携の在り方等を把握し、連携を推進していく必要がある。
テーマ (ねらい)	① 相談支援専門員の持つ情報を均一にすることを目的に、福祉サービスに限らず、親が知りたい情報をひとまとめにしたものを、既存のものを活かしながら作成し、実際に相談支援専門員が活用できる形にしていく。 ② 島根県医療的ケア児支援センターの役割について把握し、相談支援専門員とセンターが連携しやすいように情報提供をしていく。医療的ケア児の支援を知ること、医療的ケア児の担当ができる相談支援専門員を増やしていく。
具体的方法 (評価を含む)	① 親が知りたい情報を知り、既存のしおりや情報をもとに、どのようにしたら活用しやすいか、どうまとめるとよいかを検討し、作成する。出来あがったものを相談支援専門員で共有する機会を設けたり、ケース検討等の勉強会の機会をもつ。 ② 7月のサービス調整会議で、医療的ケア児の現状と課題を知る機会を設ける、島根県医療的ケア児支援センターと協働して取り組んでいく。

年間計画(案)

月	内 容	備 考
4 月	20 日（市役所 402）	
5 月	15 日（市役所 501）	22 日部会報告 （サービス調整会議）
6 月	8 日（市役所 402）	
7 月	13 日（市役所 601） ●19日 サービス調整会議:医療的ケア児について	
8 月	10 日（市役所 403）	
9 月	13 日（市役所 402）	
10 月	11 日（市役所 402）	
11 月	9 日（市役所 402）	
12 月	21 日（市役所 402）	
1 月	●11日 勉強会（市役所3階大会議室）	
2 月	8 日（市役所 301）	
3 月	14 日（市役所 302）	22 日部会報告 （サービス調整会議）

令和5年度 ささえる専門部会 事業計画書

メンバー	部会長 : 柳楽 (ぼんぼん船) 副部会長 : 長澤 (美野園) 書記: 青木 (あそび) メンバー : 居住系 WG: 浅津 (出雲サホーム)、松村 (ふたば) グループホーム WG: 富岡 (ふあっとほおむ)、長澤 (美野園) 日中活動系 WG: 金友 (WANAJAPAN)、太陽の里 (三島) 就労支援 WG: 山本 (あすてっふ)、ミライ (武田)、青木 (あそび) 柳楽 (ぼんぼん船) 居宅介護 WG: 松井 (介護ステーションさくら) 児童通所 WG: 池田 (ぽこぽこ)、寄貞 (すだち)、錦織 (ソレユ) 事務局: 山本 (福祉推進課)
現状 (問題点・課題)	○サービス管理責任者等の横のつながり 世代交代や新規事業所の増加で、新たなメンバーも増えている。サービス管理責任者等の質の向上を目指すため、継続して事業種ごとの WG での情報交換や虐待防止・権利擁護研修等に取り組んでいく必要がある。 ○サービス管理責任者等の縦のつながり 障がいのある人を切れ目なく支援していくには、横のつながりだけではなく縦のつながりも大切であり、事業種が違って共通して話ができる内容がある。従来の事業種ごとの WG での活動の他、部会メンバーで班編成・企画し、幅広く共通のテーマで意見交換できる集いの場を設けていく。 ○WG のあり方 事業の規模や事情が異なり、集まりが成立しない等、活動しにくい WG がある。(特に居宅 WG) WG の編成見直しも検討したが、現状の事業種ごとがベストであり、開催が難しい WG については、状況を見ながら可能な範囲で開催していく方向とする。 ○「ささえ愛サポート」の推進 「ささえ愛サポート」については、まだケースが少なく、課題も多い状況。地域のニーズに応えていくことができるよう、行政や関連する専門部会と稼働状況や課題を共有し、改善していく必要がある。今後も継続して、関連する WG で情報交換するとともに、関係機関と連携して進めていく。 ○事務局 (福祉推進課) の関り方 事務局が、部会と各 WG のすべてに関与することは業務負担が過大である。各 WG は自主運営とし、事務局は会場確保と各事業所への連絡を担当し、必要時のみの出席とする。

テーマ (ねらい)	(1) サービス管理責任者等で情報交換や研修等を行い、横のつながりを深めることで質の向上をめざす。 (2) 事業種をこえて共通のテーマで意見交換し、縦のつながりを深めることで、障がいのある人を切れ目なく支援する。 (3) 関係機関と連携し、「ささえ愛サポート」を推進する。
具体的方法 (評価を含む)	(1) ①部会の開催 年4回(4月、7月、11月、2月) ・研修会等の企画・準備 ・各WGの活動報告 ②WGの開催(年間計画参照) ※サービス調整会議のテーマが事業と関連がある場合、ささえる専門部会のWGとして参加する。 ③研修会の実施 ・虐待防止・権利擁護研修(10月～11月にWG単位で実施) (2) 児童通所WG・日中活動系WG・就労支援WGで共通するテーマを決め、意見交換の場を設ける。 「ビヨンドプロジェクト ～一生モノのライフスキルを考えよう～」 (3) 「ささえ愛サポート」の稼働状況を確認する。WGで情報交換・意見交換し、現状と課題について取りまとめを行うとともに、相談支援専門員や他の専門部会と連携していく。

年間計画(案)

月	内 容	備 考
4 月	第 1 回専門部会(13 日) ・年間計画の確認 ・令和 3 年度・4 年度の振り返り	
5 月	ビヨンドプロジェクト (児童通所・日中活動系・就労支援の各 WG の場 で意見を出し合う)	居住系 WG・グループホーム WG・ 日中活動系 WG・就労支援 WG・児童通所 WG
6 月		居宅介護 WG
7 月	第 2 回専門部会 ・虐待防止・権利擁護研修について ・WGの活動状況報告 ・ビヨンドプロジェクト(各 WG で出た意見を出し 合い、今後の進め方について検討)	居住系 WG・グループホーム WG・ 児童通所 WG・就労支援 WG
8 月		日中活動系 WG
9 月	ビヨンドプロジェクト	就労支援 WG
10 月	虐待防止・権利擁護研修(WG単位で実施) 第 3 回専門部会	児童通所 WG・居宅介護 WG
11 月	・虐待防止・権利擁護研修の振り返り ・WGの活動状況報告	居住系 WG・グループホーム WG・ 日中活動系 WG・就労支援 WG
12 月		居宅介護 WG
1 月	ビヨンドプロジェクト	児童通所 WG・就労支援 WG
2 月	第 4 回専門部会 ・今年度の反省・次年度の体制について確認 ・次年度の計画立案	グループホーム WG・日中活動系 WG・居住系 WG
3 月		

※開催が難しい WG については、状況を見ながら可能な範囲で開催していく方向。

令和5年度 そうだん専門部会 事業計画書

メンバー	部会長 : 足立 (ふあっと) 副部会長 : 萬代 (ハートピア出雲) メンバー : 渡部 (ふあっと) 景山 (ハートピア出雲) 板倉 (さざなみ学園) 勝部・柏井 (そうゆう) 山形 (CSいずも) 小村 (美野園) 福田 (プレーゲ) 事務局 : 高山・三沢 (福祉推進課)
現状 (問題点・課題)	○災害用アセスメント票の作成について 令和4年7月から作成しているが、作成後のモニタリングが必要であり、相談支援専門員等の意見を聴きながら、適宜改訂していく必要がある。 ○計画相談支援マニュアルについて 計画相談支援マニュアルは配布済みであるが、モニタリング期間の設定に関する例示集はまだ配布できていない。できるだけ早い段階で作成し、相談支援専門員に配布する必要がある。 ○相談支援体制について 近年、新しい相談支援事業所や一人事業所が増えてきており、その中で、「どこに相談したらいいかわからない」「計画終了後の引継ぎ先がわからない」という意見が上がってきている。機能強化事業所や委託相談支援事業所の役割が周知できていないなど重層的な相談支援体制が十分機能していない現状がある。 また、主任相談支援専門員(令和5年4月現在:15名)の役割の一つに人材育成や支援体制づくりが位置付けられているが十分に生かされていない。そこで、「出雲らしい相談支援体制」を構築していくために、重層的な相談支援体制の構築と主任相談支援専門員の活用について検討していかなければならない。 ○人材育成について 初任者からフォローアップ研修(面接技術や支援会議の進め方など)の要望は上がっているが、実施できていない。相談支援の質を上げていくためにも検討していく。 令和4年度は事例検討会を1回実施した。本人中心やストレングスに目を向けるなど再確認できるいい機会となり、参加者から今後も開催してほしいとの声が聞かれた。「想いが聴ける相談支援専門員」の養成に向けて継続して開催する。
テーマ (ねらい)	・相談支援専門員のスキルアップや「出雲らしい相談支援体制」の構築にむけた取り組みを実施し、障がい者のエンパワメントや生活の質の向上を目指す。 ・災害など緊急時にも対応した相談支援が実践できるように、災害用アセスメント票等の見直しに取り組み、より一層の安全な暮らしの実現を目指す。

具体的方法 (評価を含む)	○災害用アセスメント票の作成について 令和5年6月のサービス調整会議（テーマ：災害「災害アセスメント・個別避難プラン」）において、災害用アセスメント票のモニタリングを実施し、災害時により活用しやすくなるよう検討していく。 ○計画相談支援マニュアルについて モニタリング期間の設定に関する具体例の例示集を作成し、配付する必要に応じて改定作業に取り組む ○相談支援体制について 主任相談支援専門員が顔合わせできるように、ワールドカフェ（仮）の開催をしていく。 重層的な相談支援体制が機能していくために、主任相談支援専門員を交えて意見交換や役割分担をしながら、今後の相談支援体制について検討していく。 ○人材育成について 相談支援専門員のスキルアップのために、事例検討会や初任者向けのフォローアップ研修を企画・実施する。
--------------------------	---

年間計画(案)

月	内 容	備 考
4 月	◇第1回部会（18日） ・令和5年度の活動計画について ・サービス調整会議（6月）について テーマ「災害アセスメント・個別避難プラン」	
5 月	◇第2回部会（16日） ・サービス調整会議（6月）について ・相談支援マニュアルについて （モニタリング期間の例示について） ・ワールドカフェ開催について（主任相談支援専門員）	
6 月	◇第3回部会 ・ワールドカフェ開催について ・研修会開催について（初任者） ●サービス調整会議 （災害アセスメント・個別避難プランについて）	
7 月	◇第4回部会 ・サービス調整会議振り返り（災害アセスメントモニタリング） ・研修会企画（初任者向け） ●ワールドカフェ開催（主任相談支援専門員）	
8 月	◇第5回部会 ・ワールドカフェ振り返り ・研修企画（初任者向け）	
9 月	◇第6回部会 ●研修会（初任者向け）	
10 月	◇第7回部会	
11 月	◇第8回部会 ・研修打ち合わせ（事例検討）	
12 月	◇第9回部会 ・研修打ち合わせ（事例検討）	
1 月	◇第10回部会 ●研修会（事例検討）	
2 月	◇第11回部会	
3 月	◇第12回部会 ・総括（相談支援体制・相談支援マニュアル・災害時アセスメント・人材育成）	

※相談支援体制の構築・人材育成及び主任相談支援専門員との連携については、年間を通しての検討事項

令和5年度 就労支援ネットワーク会議 活動計画書

メンバー ※R4 年度	リーダー：青木（あそび） 副リーダー：足立（まるべりー出雲） 書記：竹縄（デイケアピノキオ） 佐藤（アトリエール） メンバー：佐藤（あそび） 柳楽（ワークセンターフロンティア） 柳楽（ぼんぽん船） 古角（やまびこ園） 小豆澤（豆の樹） 井上（ハローワーク出雲） 安田（リーフ） 福田（リーフ） 山根（出雲養護学校） 平木（出雲養護学校） 萬代（ハートピア出雲） 鍵山（こころの医療センター） 大畑（出雲保健所） 山本（あすてっふ） 原（島根県東部高等技術校） 細木（しまね東部若者サポートステーション） 森山（島根県中小企業同友会／Office Sou） オブザーバー：原（島根県教育庁 特別支援教育課） 事務局：足立（福祉推進課） 大島（福祉推進課）
現 状 （問題点・課題）	①障がい者の就労をめぐるのは、福祉・労働・教育・医療・行政など多分野の関係機関がかかわっている。当事者にとって最善の支援を行っていくためにも、必要な支援システムを創造していくためにも、互いに顔が見える連携、協働が生まれる基盤としての関係機関ネットワークが必要である。 ②社会情勢が変化していく中で、障がい者雇用を維持推進していくには、企業側のニーズをしっかりと捉え相互理解と連携の地盤づくりを進める必要がある。 ③地域に就労移行支援事業所が少ない。就労継続支援の事業所から一般就労を希望される方がある。希望に応じたステップアップの機会を得られるよう、就職にむけた支援について事業所スタッフに意識やノウハウを広めていく必要がある。 ④就職がゴールではなく、その後長く安定して働き続けられることがさらに重要である。いざという時に有効な支援が提供できるためには、ゆるやかでも継続的なサポートの仕組みが必要である。 ⑤就労アセスメントに代わり導入される「就労選択支援」について、当事者にとって有用なものとして活用されるよう、情報の収集や共有が必要である。
テーマ （ねらい）	【今年度の目標】 ①障がい者の一般就労を支援する組織横断的な事業の企画運営 ②企業とのつながり作り ③一般就労にむけた支援ノウハウの普及浸透 ④ゆるやかな就労定着支援の場の提供
具体的方法 （評価を含む）	＊ネットワーク会議の開催（2月に1回程度） ＊事例検討 ＊合同ジョブガイダンス：（10月予定） ＊企業情報交換会／リーフと共同開催：（9月予定） ＊＃ツリーカフェ：偶数月第2木曜日 18:00～19:00 頃 障がい者雇用についての情報交換の場 ＊福祉から一般就労へステップアップ意見交換会：（12月予定） 福祉就労事業所スタッフ対象に、一般就労支援のノウハウを情報提供 ＊はたらく仲間のコーヒータ임：毎月第3金曜日 18:00～19:00

年 間 計 画

月	内 容	備 考
4 月	4/13 #ツリーカフェ（偶数月第 2 木曜） 4/20 第 1 回ネットワーク会議 4/21 はたらく仲間のコーヒータイム（毎月第 3 金曜）	スターバックスコーヒーゆめタウン出雲店 市役所 市職員共済会会議室 ふじひろ珈琲
5 月		
6 月	6/16 第 2 回ネットワーク会議・事例検討	事例提供：アトリエール
7 月		
8 月	第 3 回ネットワーク会議・事例検討	事例提供：フロンティアー
9 月	企業情報交換会	
10 月	第 4 回ネットワーク会議・事例検討 合同ジョブガイダンス	事例提供：東部高等技術校
11 月		
12 月	第 5 回ネットワーク会議・事例検討 福祉から一般就労へステップアップ 意見交換会	事例提供：まるべりー出雲
1 月		
2 月	第 6 回ネットワーク会議・事例検討	事例提供：リーフ
3 月		